



碧南ロータリークラブ週報

第2613回例会 平成24年10月17日(水)

- 会長 黒田 昌司
- 幹事 木村 徳雄
- 会場監督(SAA) 新美 雅浩

2012-2013 年度 国際ロータリーのテーマ

■例会日 毎週水曜日 12:30 ■例会場 碧南商工会議所ホール
 ■事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
 E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 菅原優・鈴木泰博・服部弘史・大竹密貴

● 斉 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

半田RC 富 武司君、畑中雅之君 西尾RC 岡本雅彦君
 高浜RC 小笠原芳夫君、笠松栄治君、川角年比古君、近藤智樹君、杉浦浩一君

会 長 挨 拶

この10月は、職業奉仕月間という事で、その一環としまして職場例会を開催致しましたところ、非常に多くの方に参加頂きまして、心よりお礼を申し上げます。併せまして、本会員でございます菅原さんにお世話になっております。感謝を申し上げます。



黒田昌司会長

トヨタ自動車といいますと、無駄を省く、という事では日本でナンバーワンの会社ではないかと思えます。今日は「労働」という事に関しましてお話をさせて頂きます。

日本最古の歴史書の古事記の中に、天照大神が機を織っており、そして現在の天皇陛下は稲を育てており、皇后様は蚕を育てて絹を採っております。要するに、神様の系列でありますその流れは、一般の人に労働とは非常に尊いものであると実践をしておられます。

ところが一方で海外の方で、旧約聖書を使っている宗教、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の人たちの労働感というのをご紹介致します。旧約聖書に、アダムとイブが追放される時、神様がこの二人に罰を与えました。その罰は英語で「レイバー」といい、男には「レイバー(労働)」、女には「レイバー(出産)」を罰として与えたと聖書にはあります。日本では神様自ら仕事をする、海外では罰として仕事をさせるという事で、一番良い例が有給休暇で、海外では有給休暇は義務であります。日本では権利でございます。仕事を失った時に、海外では仕事を罰

として考えられているので、保険などお金が入る前提ではありますが、罰を逃れられたという事で良い事として考えるのではないかと、思います。

最近生活保護の人たちが増えてきたり、仕事をしながら若い人たちが増えてきている中で、経営者として、色々な人たちに仕事の尊さを受け継いでもらえるような方策を今後とっていきたくと考えております。

委員会報告

<出席奨励委員会>

総会員数 68 名 (内出席免除者 13 名の内出席者 7 名)出席者 51 名	
出席対象者 51/61 名	出席率 83.61%
欠席者 13 名(病欠者 1 名)	前々回修正出席率 98.48%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

職場例会「トヨタ自動車(株)衣浦工場」



榑原健職業奉仕委員長



菅原優君



次回例会案内 平成 24 年 10 月 31 日 (水)
卓話「オイスカの国際協力」
公益財団法人オイスカ中部日本研修センター
職員 筑田夏菜子氏